

● 種子の申込み方法、配布方法、日程

- ・ 申込書は、以前、交換会案内文に同封した印刷物の「第42回（2025-2026年）種子交換会申込書」か、PDF ファイル「第42回（2025-2026年）種子交換会申込書」をお使いください。
- ・ 申込書に記入する具体的な方法は、PDF ファイル「42回申込書の記入方法」に記載されています。熟読の上、記入してください。
- ・ 種子の配布数は個人、団体とも、基本的には最大A会員36袋、B会員24袋を予定しています。
- ・ 種子は、まずA会員（種子提供者）に優先的に配布し、次にB会員（種子を提供しない方）に配布します。
- ・ A会員の中の配布順は、基本的には提供頂いた種子の種類、量を勘案して決めさせていただきます。従来の日付、時刻順といたしませんので、急ぎ申し込み書をお送りいただく必要はありません。B会員の配布順は、従来通り投函の日付、時刻順と致します。（遠方の方が優先します）
- ・ 申込み締め切り日は2026年1月16日（必着）です。郵便でお申し込みください。郵便事情が悪くなっているため、ポストに投函される場合ご注意ください。投函時間によっては配送処理が翌日からになり、到着が遅れることになります。
- ・ 申込先：223-0053 横浜市港北区綱島西 6-7-16-401 西田 和憲
- ・ 種子の提供なしのかたは、種子申込書と110円切手を6枚同封して、上記の申込先に、表紙記載の締め切り日までに郵送してください。B会員として配布いたします。最大24袋を予定しています。（東京山草会の会員は無料）今年度は、余った種子による余剰種子の頒布会を、別途要領（後日、ホームページに案内します）に従って実施します。・ 本種子リストの種子番号は、種ごとの固定番号です。種子リストに印をつけてから、この種子リストの記載順に申込書に記載して下さい。

● このリストの構成と見方の説明

- (1) リストの配列順は、第一に科名のアイウエオ順、科内では学名のアルファベット順です。同じ属のものは、一箇所にまとまって掲載されています。
- (2) 種子番号は連続番号ではなく、種ごとの固定番号になっています。
- (3) 一つの種についての記載順は、番号、和名、学名、普通種の特性（草丈、花色、原産地等）、[提供者コメント]、[野生種子の採種地]、提供者番号です。
- (4) 和名の後の（ ）内の記載：提供された種子に特有の特性等を記載しています。
- (5) 学名の後の（ ）内の記載：その種の一般的特性を記載しています。特性の部分の数値は草丈です。cmを省略しています。
- (6) []内の記載：提供者もしくは交換会のコメントを載せています。普通種と異なったものが提供された場合、普通種と提供者の記載内容と異なることがあります。少量と書かれているものは、提供数が少ないか、袋に入っている種子数が少ないことを指します。
- (7) 凡例
 - (W)：野生株からの採種。採種した場所は、原則として県まで記載。（例：長野県）
 - (E)（●●産）：野生株を栽培し結実した種子、あるいは野生株からの種子を実生し、育てた株で結実した種子。他の地域のものと交雑しないよう注意したもの。
 - (例) 長野県産：長野県産の野生株を栽培して得た種子、あるいは長野県の野生株から採種した種を実生し、育てた株から採種した種子。
 - (B)：種子ではなく球根で提供頂いたもの
 - (d)：乾燥種子の状態を提供されているもの。保湿種子で提供されたほうが良い種類について、区別するためです。
- (8) 種名はできる限り正確にするように心がけています。しかし、保証はできません

- (9) 学名のカタカナ読みは、同一の種でも若干違っている場合があります。気にしないでください。
- (10) 和名の後の（ ）内の花色、斑入り、等は種子を採種した株の性状です。採種した種子の実生株に親の特性が発現しないことが結構あります。例えば、親が斑入りでも、実生株が斑入りにならない場合は結構あります。園芸種では多くの場合、親と同じ性状にはなりません。また、自家受粉しにくい種の場合、花粉親の株の性状を注意して採種したものでないと、この傾向が著しくなります。特に、園芸種の種子の実生株にラベルを付ける際には、「〇〇〇の実生」としてください。
- (11) 提供者コメントの項に「乾燥種子」と書いてあるものは、保湿状態で保管した方が望ましいにもかかわらず、乾燥状態で提供された種子について、交換委員会が記入したものです。「保湿種子」と書かれているものは、保湿状態で提供され、保湿状態で保管した方が望ましい種類の種子について記入されています。

● 栽培にあたって

- (1) 到着した種子は早く播種してください。すぐに播種しない場合には乾燥しないようにして、冷蔵庫に保管してください。
- (2) 繁殖力が強い種の場合、外部へ逃げ出さないように注意してください。こぼれ種の実生も注意して、逃げ出さないようにしてください。実生品を他の人にさしあげる場合には、このことを一言申し添えてください。
- (3) 自生地で採種した種子（Wの種子）や産地、由来が明確な種子の実生を栽培される場合には、できるだけ他のものと交雑しないようにして種子を採ってください。その場合、一株だけ栽培するのではなく、少なくとも2株、できればそれ以上の株を栽培し、できるだけ人工交配して遺伝子の多様性を保存するようにしてください。自家受粉しにくい種については、特に必要な処置であると思います。ラベルには「(●●産) 交換会第〇〇回〇〇〇〇(種子番号)」を記し、種子が採れたら、交換会へ提供してください。
- (4) ぜひ、記録（播種日、発芽発見日、開花日等）をとって、交換会へ連絡してください。別種のものが発芽した場合も連絡を御願いたします。データを蓄積して、皆様のお役に立てたいと考えています。このリストの播種の記録（最後のページ）を利用してください。

● 種子提供の方々へ

- (1) 全国的に猛暑だったにもかかわらず、栽培に、採種に、種子提供に努めていただき、お陰様で今年も種子交換を行うことができました。感謝いたします。
- (2) 提供された種子がリストに掲載されていない場合には、種子交換会に連絡ください。提供したはずの種子が掲載されていないことが、手違いによって発生している場合があります。調査します。不明の場合は、ご容赦ください。
- (3) 異名で提供された種子は、できる限り正式名にしました。異名のほうはリストに掲載したり、しなかったりしています。
- (4) 種子が不完全の場合、例えば「シイナがほとんど」（キク科）、「種子がはじけて飛んで、莢だけ」（フウロソウ科、キンポウゲ科）等の場合には、できるだけ連絡し、ご了解を得てから廃棄しました。しかし、中には連絡なしに廃棄したものもあります。外来種で雑草化がほぼ確実なものも、廃棄しました。ご了承下さい。今回の交換会では、クガイソウに種子が見当たらないという問題がありました。

● 連絡やご質問は、

- ・西田和憲まで、郵便またはメールでお願いいたします。
〒223-0053 横浜市港北区綱島西6-7-16-401
メール: kaz-tokyoseed@f03.itscom.net